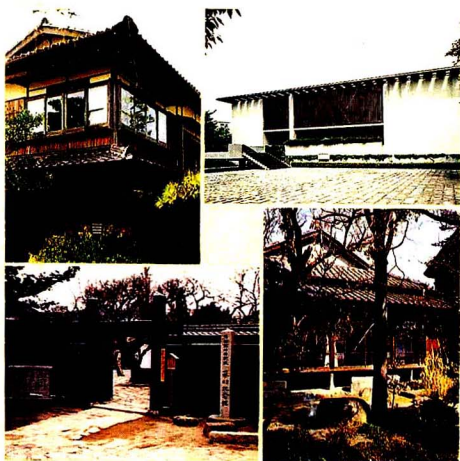


文学館きたみなみ

北海道新聞社 定価1300円(本体1262円)



埼玉県立図書館



11528597

ISBN4-89363-545-X C0095 P1300E

文学館きたみなみ

木原直彦 著

北海道新聞社

き はら な お り こ
木原 直彦



◎昭和5年1月北海道胆振支庁管内厚真町上厚真生まれ。17年室蘭市に移住、28

年「ペン」、29年「室蘭文学」の創刊に参画。36年札幌市に移住し、翌年「北海道文学」創刊主宰。43年から「北海道文学散歩」(「北方文芸」)を連載中。52年から「さっぽろ文庫」(札幌市発行)の編集責任者。

◎著書＝「北海道文学史」全3巻(北海道新聞社)、「北海道文学散歩」全4巻(東京・立風書房)、「伊藤整文学散歩」「旅—そして文学碑」「風土の感触」「名作の中の北海道」。ほかに共編著多数。

◎受賞＝40年北海道文化奨励賞。50年北海道新聞文学賞、同札幌市民文化奨励賞。

◎財団法人北海道文学館専務理事(館長)。札幌市教育委員会副参事。日本文芸家協会、日本ペンクラブ会員。

◎現住所＝札幌市豊平区平岸1-15

文学館・きたみなみ

平成二年二月二十八日発行

定価 一三〇〇円(本体一二六二円)

著者 木原 直彦

発行者 相神 達夫

発行所 北海道新聞社

札幌市中央区大通西三丁目

電話 札幌二二一局二一一

振替 小樽九一二八三九八

印刷所 三陽印刷株式会社

製本所 有限会社石田製本

文学館・きたみなみ◆目次

東北

太宰治資料室	青森県	金木町	36
秋田雨雀記念館	〃	黒石市	38
石川啄木記念館	岩手県	玉山村	40
啄木新婚の家	〃	盛岡市	42
宮沢賢治記念館	〃	花巻市	44
高村記念館	〃	〃	46

北海道

北海道文学館	札幌市	10
旧有島家住宅	〃	14
有島武郎旧邸	〃	16
小樽文学館	小樽市	18
有島記念館	ニセコ町	20
港の文学館	室蘭市	22
啄木文庫	函館市	24
石川啄木資料館	〃	26
道南・道央の文学コーナー	〃	28
道東・道北の文学コーナー	〃	31

関 東

雨情記念館……………	茨城県北茨城市	60
田山花袋記念館……………	群馬県館林市	62
萩原朔太郎記念館……………	〃 前橋市	64
徳富蘆花記念文学館……………	〃 伊香保町	66
新しき村美術館……………	埼玉県毛呂山町	68
神奈川近代文学館……………	神奈川県横浜市	70
大仏次郎記念館……………	〃 〃	72
鎌倉文学館……………	鎌倉市	74
吉屋信子記念館……………	〃 〃	76
川端康成記念館……………	〃 〃	76
逗子市郷土資料館……………	逗子市	78
白秋記念館……………	三浦市	80
寄生木記念館……………	〃 宮古市	48
石坂洋次郎文学記念館……………	秋田県横手市	50
石川達三記念室……………	〃 秋田市	52
斎藤茂吉記念館……………	山形県上山市	54
その他の文学館など……………	〃 〃	56

東京

前田夕暮記念室……………	〃	秦野市	82
小田原市郷土文化館……………	〃	小田原市	84
諸施設の文学コーナー……………			86

東 海

井上文学館……………	静岡県	長泉町	144
芹沢文学館……………	静岡県	沼津市	146
若山牧水記念館……………	静岡県	沼津市	148
木下杢太郎記念館……………	静岡県	伊東市	150

信越・北陸

山梨県立文学館……………	山梨県	甲府市	120
軽井沢高原文庫……………	山梨県	軽井沢町	122
藤村記念館……………	山梨県	小諸市	124
有島生馬記念館……………	山梨県	信州新町	126
平林たい子記念館……………	山梨県	諏訪市	128
藤村記念館(馬籠)……………	山梨県	山口村	130
会津八一記念館……………	新潟県	新潟市	132
石川近代文学館……………	新潟県	金沢市	134
龍翔館……………	福井県	三国町	136
中野重治文庫……………	福井県	丸岡町	138
若州一滴文庫……………	福井県	大飯町	140
その他の文学館など……………			142

近畿

舟橋聖一記念文庫	滋賀県彦根市	168
織田文庫、川田文庫	大阪府大阪市	170
大阪国際児童文学館	〃	172
川端康成文学館	〃	174
三好達治記念館	〃	176
志賀直哉旧居	奈良県奈良市	178
谷崎潤一郎記念館	兵庫県芦屋市	180
柳田国男記念館	〃	182
霞城館	〃	184
城崎町文芸館	〃	186
佐藤春夫記念館	和歌山県新宮市	188

伊豆近代文学博物館	天城湯ヶ島町	152
浜松文芸館	浜松市	154
明治村	愛知県 犬山市	156
森田草平記念館	岐阜県 岐阜市	160
丹羽文雄記念室	三重県四日市市	162
佐佐木信綱資料館	鈴鹿市	164

四 国

二十四の瞳館	香川県	内海町	206
菊池寛文庫	〃	高松市	208
讃岐文学館	〃	〃	210
酒蔵桂月館	高知県	土佐町	212
子規堂	愛媛県	松山市	214
子規記念博物館	〃	〃	216
伊予俳諧文庫、虚子文庫	〃	〃	218
大和田建樹記念館	〃	宇和島市	220

山陽・山陰

竹久夢二生家	岡山県	邑久町	190
吉備路文学館	〃	岡山市	192
尾道市文学記念室	広島県	尾道市	194
倉田百三文学館	〃	庄原市	196
小泉八雲記念館	島根県	松江市	198
森鷗外旧宅	〃	津和野町	200
津和野町郷土館	〃	〃	202

九州

森鷗外旧居(小倉)……………	福岡県北九州市	224
火野葦平資料室……………	〃	226
堺利彦顕彰記念館……………	〃	228
野田宇太郎文学資料館……………	〃	230
北原白秋生家……………	〃	232
野上弥生子文学記念館……………	大分県 臼杵市	234
牧水記念館……………	宮崎県 東郷町	236
下村湖人生家……………	佐賀県 千代田町	238
徳富記念館……………	熊本県 熊本市	240
夏目漱石内坪井旧居……………	〃	242
熊本近代文学館……………	〃	244
その他の文学館など……………	〃	246
北海道ゆかりの作家たち……………		249
あとがき……………		261
館名・人名索引……………		270

北海道



北海道文学館

北海道



道立文学館の建設を報じた平成2年
1月4日の北海道新聞

昭和四十一年秋、札幌で「北海道文学展」が開かれた。北海道の文学者の総力を結集し、北海道百年の文学遺産を展示して本道文学の発展に貢献することを目的にした展覧であった。

北海道文学館は、その画期的な大成功

によって翌四十二年四月二十二日に設立した。日本近代文学館が開館したと同時にスタートだが、地域総合のものとしてはもっとも早い名乗りであった。以来二十三年、長い任意団体を経て財団法人としての歩みをつづけている。

はじめ事務局長の勤務先に事務所を置



文学館案内

所在地＝札幌市中央区大通西13、札幌市資料館内
☎011・271・3369
休館日＝月曜（展示）、土、日曜（閲覧）
入場料＝無料

おことわり

展示模様、休館日、入場料については変更の例が多いため、あらかじめご了承ください



12万2千点の資料を収蔵

北海道文学館

いたが資料庫はなきに等しい状態であった。四十六年からは札幌市の配慮で時計台に入居させてもらい、資料収集や展覧会などの事業が少しずつ進んでいった。大通公園は「札幌の顔」だが、その西端を占めているのが四十八年十一月の文

化の日に開館した札幌市資料館である。昭和元年に完成したレンガ造り石山軟石張りの札幌控訴院（のち札幌高等裁判所）だった建物で、文学館では資料館がオーブンのときから文学展示を担当し、越えて五十四年三月七日、板垣札幌市長の好意で玄関に「北海道文学館」の看板を掲げることができた。

本拠地を得て事業の進展をみたが、昭和六十二年の五月には盛大な二十周年記念祝賀会を持つことができたのである。記念出版「北海道文学百景」のなかに、「本命の資料は十一万五千点（現在十二万二千点）を収蔵するところとなり、各種行事も展覧会は約六〇回、講演会は三〇、講座四〇、文学散歩四〇におよんでいます」と書かれている。

い。休館日のうち「祝日の翌日」であっても、土・日曜開館の施設もありますし、年末年始はだいたい休みです。入場料は小人と団体割引の料金は省略しています。

参照文学館

（数字はページ）

国木田独歩 田山花袋記念館62、逗子市郷土資料館78、新宿歴史博物館98、野田宇太郎文学資料館230
石川啄木 小樽文学館18、啄木文庫24、石川啄木資料館26、本行寺・啄木資料室33、大空泊資料室36、

札幌市資料館に入居してはじめて、同館を会場に常設展を持つに至った。二階部分が展示室で、札幌市教育委員会による「ふるさと札幌」「船山馨記念室」「札幌市考古資料室」を除き、常設展三室、年三回替わりの企画展一室を経営している。常設のうち「北海道文学展示室」には国木田独歩、石川啄木、中村武羅夫、岡



武林無想庵
(1880～1962)



国木田独歩
(1871～1908)



有島 武郎
(1878～1923)



石川 啄木
(1886～1912)



高橋 留治
(1911～1984)



中村武羅夫
(1886～1949)



石森 延男
(1897～1987)



亀井勝一郎
(1907～1966)

田三郎、伊藤整、亀井勝一郎、子母沢寛、小林多喜二、本庄陸男、和田芳恵、八木義徳、三浦綾子、夏堀正元ら十八のコーナーがあり、「札幌文学展示室」には武林無想庵、森田たま、石森延男、島木健作、久保栄、原田康子、渡辺淳一、李恢成、高橋揆一郎のコーナーを設けている。北海道文学の恩人といわれる「有島武郎記

石川啄木記念館40、
啄木新婚の家42、寄
生木記念館48、盛岡
市先人記念館56、雨
情記念館60、日本近
代文学館90、鵬外記
念本郷図書館102、明
治村156、野田宇太郎
文学資料館230、牧水
記念館236
岡田三郎 小樽文
学館18
伊藤整 小樽文学
館18、川端康成記念
館76、日本近代文学
館90
亀井勝一郎 日本
近代文学館90、内村
鑑三記念文庫116
子母沢寛 厚田村
郷土資料室30
小林多喜二 小樽
文学館18、志賀直哉
旧居178
和田芳恵 長万部
町立町民センター郷
土資料室28、一葉記
念館100



展示室に独歩らのコーナー

北海道文学館

「念室」には、名作「或る女後編書後」の原稿や書簡など貴重な資料が多い。企画展はいま「北海道歌人会創立三十五周年記念展」（注・昭和六十三年四月五日～八月二十八日）を開いていて、戦後における北海道歌壇の歩みを伝えている。

階下部分の五室は図書庫、雑誌庫、特殊資料庫、高橋留治文庫（日本有数の詩書コレクション）、石森延男文庫などにあって、日本に誇ることのできる北海道文学の資料群である。目録のできたものから一般の閲覧に応じている。

北海道文学館（理事長和田謹吾、個人会員五一〇人、団体会員六〇）はいま大きな転機にある。昭和六十三年十一月三日には道や札幌市などの出資を得て念願の「財団法人」を実現することができた。その基盤のうえに立って横路道知事の公約による道立文学館（公立民営）の建設を目指していたが、平成二年度に設置調査費が計上されたので一日も早い「北海道精神文化の殿堂」を築きたい。

八木義徳 港の文学館22

森田たま 森田草平記念館160

島木健作 鎌倉文学館74、内村鑑三記念文庫116、伊豆近代文学博物館152、讃岐文学館210

有島武郎 有島武郎旧邸16、小樽文学館18、有島記念館20、岩内町郷土館28、鎌倉文学館74、日本近代文学館90、軽井沢高原文庫122、有島生馬記念館126、芹沢文学館146、浜松文学館154、城崎町文学館186

13

旧有島家住宅

明治44年当時の有島武郎一家、中央が行光（森雅之の本名）



有島武郎の「生れ出づる悩み」の冒頭の部分に「私の借りた家は札幌の町端れを流れる豊平川という川の右岸にあった」と書かれているが、いまその跡地（白石区菊水一―）には案内板が立っている。

武郎が三十二歳のときの明治四十三年

14

（一九一〇）五月から翌年の夏まで住んだ家で、長男の森雅之が生まれ弟の有島生馬や武者小路実篤が訪ねているが、名作「或る女」の執筆を開始した時期でもあった。

北海道文学館が札幌市内に現存する二つの有島旧居を保存する運動を決議した



文学館案内

所在地＝札幌市白石区厚別町小野幌、北海道開拓の村

☎011・898・2692

休館日＝月曜

入場料＝大人夏期500円、冬期400円

参照文学館

（数字はページ）

有島武郎 北海道文学館10、有島武郎旧邸16、小樽文学館18、有島記念館20、岩内町郷土館28、鎌倉文学館74、日本近代文学館90、軽井沢高原文庫122、有島生